

ピアノ発達史年表(1700年代)

年代	ピアノ発達史	音楽史	世界史
1700	<p>08 パリのキュージーニ、キーの先端にマレットがつき、クラビコードのタンジェントに似た装置を持つ鍵盤楽器を制作 (仏)</p> <p>09 ヴァルト・メオ・クリストフォリ、最初のピアノ「クラビチェンノ・コレ・エ・フォルテ」を発明 ハンマーとダンパーを持つ (当時54歳)</p>	<p>00 アンドレアス・ジルバーマンオルガン制作を開始</p> <p>02 ゴットフリート・ジルバーマン、ストラスブールに行き、兄アンドレアスの元で、オルガン制作の修行をする</p> <p>02 ソヴィール、音響学に関する論文を発表「振動数と倍音の測定」(パリ)</p> <p>06 ラモー&lt;クラバサン曲集第一巻&gt;</p> <p>08 J・S・バッハ、ワイマールの宮廷音楽家となる</p>	<p>01 プロシア王国成立</p> <p>01 スペイン継承戦争 (~14)</p> <p>07 イングランド、スコットランド合併</p>
1710	<p>11 マフェイがクリストフォリの発明を記述紹介 (伊)</p> <p>16 ジャン・マリユスが「韃つきクラバサン」の4種の考案を、パリ庄位アカデミーに提出 (4種のピアノアクション) (仏)</p> <p>16 クリストフォリ、コジモ3世に仕え、フェルディナント王子の残した84個の楽器の保存責任者となる (伊)</p> <p>17 シュレーター、アップストライキング・アクションを考案 (独) = ハンマークラビアの発表 ハンタレオンからヒントを得た <a href="#">アクション構造</a></p> <p>18 フランダーズのシュディ、イギリスへ移り、ピアノ制作を開始 シュディはハーブスコット制作者 後のブロードウツの師 義父である</p>	<p>11 ロンドン王室のリュート奏者、ジョン・ジョーア音叉を発明</p> <p>13 ケーブラン&lt;クラバサン曲集第一集&gt; 序の中でクラバサンが音の強弱をつけられない点を指摘。技術で補うよ書かれてある。</p> <p>14 J・S・バッハ、ワイマール宮廷楽団楽師長に就任</p> <p>14 グレック生れる (奥)</p> <p>14 ジルバーマン、フライベルクの大聖堂のオルガンを完成</p> <p>16 ケーブラン『クラバサン奏法』出版</p> <p>17 ケーブラン&lt;クラバサン曲集第二集&gt;</p> <p>17 ヘンデル&lt;水上の音楽&gt;</p> <p>19 フライトコプフ出版社創業</p>	<p>10 ベルサイユ宮殿完成 (仏)</p> <p>13 コトレヒト条約</p> <p>14 ジョージ1世即位 (ハノーバー王朝)</p> <p>15 ルイ14世没</p> <p>18 英仏蘭独4国同盟</p>
1720	<p>20 クリストフォリ、現存する世界最古のピアノを製作 (4オクターブと4度) 現在メトロポリタン博物館蔵 (伊)</p> <p style="text-align: center;"><a href="#">アクション構造</a> </p> <p>21 シュレーター、ドレスデンのザクセン公に2つのピアノアクション考案を提示 (独)</p> <p>25 マテソンの著書『クリティカ・ムジカ』にクリストフォリの考案が紹介 (独)</p> <p>25 ザクセン公がマフェイの記述をドイツ語に翻訳させる (独)</p> <p>25 クリストフォリ、ピアノに改良を加え、ピアノの原理完成 (伊)</p> <p>25 クリストフォリ、現存のピアノを製作 4オクターブ、ダブルアクションとエスケープメント付き。現在ライプツィヒのカール・マルクス大学所蔵 (伊)</p> <p>26 ジルバーマン、最初のハンマーチェンノ・コレを製作 (独)</p> <p>26 ジルバーマン、2台のピアノをバッハに見せる</p> <p>28 ヨハン・アンドレアス・シュタイン生れる (独)</p>	<p>21 J・S・バッハ&lt;ブランデンブルク協奏曲&gt;</p> <p>22 J・S・バッハ&lt;平均率クラバサン曲集第一巻&gt; 平均率の調律法を採用 これ以前は中間音不平等平均率</p> <p>22 ラモー『和声論』</p> <p>23 J・S・バッハ&lt;インベンション&gt;</p> <p>26 ラモー『管楽理論の新体系』</p> <p>26 ビヴェルディ&lt;四季&gt;</p> <p>26 ヘンデル、イギリスに帰化</p> <p>29 バッハ、コレギウム・ムジクムの指揮者に就任</p> <p>29 J・S・バッハ&lt;マタイ受難曲&gt;</p>	<p>24 カント生れる (独)</p> <p>25 ピョートル1世没 (露)</p> <p>25 カテリーナ女王即位 (露)</p> <p>26 スウィフト『ガリバー旅行記』</p> <p>27 ニュートン没</p>
1730	<p>30 クリストフォリの弟子フェリーニがスペイン女王エリザベッタ・ファーンネのためにピアノを製作 (伊)</p> <p>30 ジルバーマン、最初のピアノ製作 (独)</p> <p>31 クリストフォリ没</p> <p>33 ジルバーマン、バッハにピアノを贈呈 (独)</p> <p>36 バッハ、ジルバーマンのピアノを批評、ジルバーマン怒る (独)</p> <p>39 ドメニコ・テレ・メーラ、ピラミッドピアノを作る</p> <p>39 マリユス設計の最初のアップライトピアノが作られる 現在フイレンツェの音楽学校所蔵 (伊)</p>	<p>32 ロドピコ・ギュスティーニ、世界最初のピアノフォルテのための作品(ソナタ)を作曲 (伊)</p> <p>32 ハイドン生れる(奥)</p> <p>33 ケーブラン没</p>	<p>33 ポーランド王位継承戦争</p> <p>35 ウィーン条約</p> <p>39 イギリス、スペインと開戦</p>
1740	<p>42 ヨハン・ゾッピヤー、ドイツ最初のスクエアピアノを製作 (4オクターブ半 独)</p>	<p>41 ヘンデル&lt;メサイア&gt;</p> <p>41 ビヴェルディ没</p>	<p>40 マリア・テレジア即位 (奥)</p> <p>40 フリードリッヒ2世即位 (プロシア)</p> <p>40 オーストリア継承戦争</p>

	<p>45 フリーデリヒ、ピラミッドグランドと呼ばれるピアノを製作 (英)</p> <p>45 シルバーマン、現存のピアノを製作 (独) </p> <p>47 バッハ、シルバーマン製作、フリードリヒ2世所有のピアノを試奏 (独)</p>	<p>43 J・S・バッハ&lt;平均率クラヴィア曲集第2巻&gt;</p> <p>47 J・S・バッハ&lt;音楽の精神の&gt;</p> <p>49 J・S・バッハ&lt;フーガの技法&gt; (未完)</p>	<p>44 ジョージ王戦争 (~ 48)</p> <p>48 モンテスキュー『法の精神』</p>
1750	<p>52 セバスチャン・エラール生まれる (仏) </p> <p>53 シルバーマン没</p> <p>53 フリーデリヒがスクエアピアノを製作 (記録はあるが明らかではない)</p> <p>55 ウィリアム・メーソン、ハンブルグでチェンバロとピアノの音が出る楽器を購入</p> <p>56 7年戦争勃発のため、ドイツのピアノメーカーはほとんどイギリスに移動 シルバーマンの弟子ツンペもロンドンに逃れ、シュティの元で働く</p> <p>57 イグナーツ・ヨーゼフ・ブレイコル生れる (奥)</p> <p>59 ベルトマン、フランスで最初のピアノを製作</p> <p>59 シルバーマンの弟子、ヨハン・アンドリアス・シュタインがピアノ製作開始(独)</p>	<p>50 J・S・バッハ没 </p> <p>52 クレメンティ生れる(伊) </p> <p>53 C・P・E・バッハ、『ピアノの演奏法』を出版</p> <p>56 モーツァルト生れる (奥)</p> <p>57 D・スカッティ没</p> <p>59 ヘンデル没</p>	<p>51 百科全書刊行 (~ 72 )(仏)</p> <p>56 7年戦争 (~ 63)</p> <p>56 英仏植民地戦争</p> <p>57 フラッシーの戦い</p>
1760	<p>60 カラード&amp; カラードピアノ工場建設 (英)</p> <p>60 ツンペ、シュティより独立してスクエアピアノを発表 (黒鍵を2分割)(英) </p> <p>61 ジョン・ブロードウッド、シュティに入門 (英)</p> <p>67 新楽器をピアノ・フォルテと呼ぶ ロンドンのガーデン劇場で宣言 (英)</p> <p>69 シュタイン、2段鍵盤のハンマーとジャックのついた楽器を製作 (独)</p>	<p>60 ドゥジエク生れる (チェコ) </p> <p>62 グレック&lt;オリエウスとエウリディチェ&gt;</p> <p>64 ラモー没</p> <p>64 モーツァルト、4手のためのピアノ曲を最初に作曲</p> <p>67 ピアノが世界で初めて歌の伴奏楽器として公開 演奏会で使用される(英) 演奏 チャールズ・ディブティン</p> <p>67 テレマン没</p> <p>68 J・C・バッハ、ピアノ公開演奏会を開く 使用ピアノは、ツンペ作 (英)</p> <p>68 パリで最初のピアノ演奏会 (仏)</p>	<p>62 ルソー『社会契約論』『エミール』</p> <p>62 カザン2世即位 (露)</p>
1770	<p>70 フランス最初のピアノメーカー、ヨハン・キリアン・メルケン およびエラールが創業 (仏)</p> <p>72 オランダ人メリカス・バッカーズ、イギリス式グランドアクションを発明 (英) <a href="#">アクション構造</a></p> <p>72 レピーネ、チェンバロとピアノを合体したものを製作 (仏)</p> <p>73 シュタイン、エスケープメントアクションを発明 (独) <a href="#">アクション構造</a></p> <p>73 アメリカにおける演奏会で、初めてピアノが使用される (ニューヨーク)</p> <p>75 ジョン・ベレント、アメリカ最初のスクエアピアノを製作 (フィラデルフィア)</p> <p>75 シュタイン、アウグスブルグでピアノ製作開始 (独) = モーツァルトに愛好された シュタインの娘、ナネットがミュンヘンで結婚し、その工場が アウグスブルグからウィーンに移された(1793年) これらのピアノが、いわゆる『ウイナータイプ』である</p> <p>75 ブロードウッドら、改良型イギリス式アクション完成 (英) </p> <p>76 バスカル・タスカン、フランス最初のピアノを製作 (仏)</p> <p>76 ベンチャーズ、イギリス式アクションを発明 (といわれる)</p> <p>77 エラール、パリで創業。最初のピアノを製作 (仏)</p> <p>77 ロバート・ストーダート、改良型イギリス式アクションの特許取得 (英)</p> <p>77 ピアノにラウドペダルをつけることが考案される (アダム・バイコルの作ったスクエアピアノ)</p> <p>78 シュタイン、ペダルつきピアノ製作 (独)</p>	<p>70 ベートーベン生まれる (独) </p> <p>74 ハイドン、ピアノソナタの第1巻発表 (全35曲)</p> <p>74 モーツァルト、最初のピアノソナタ</p> <p>77 モーツァルト、シュタイン製作のピアノを試奏</p> <p>78 ベートーベン、ピアノ演奏家としてデビュー (ケルン)</p> <p>78 フンメル生まれる (奥)</p> <p>79 ウィーンのピアノ教師、30万人を超す</p>	<p>72 第1次ポーランド分割</p> <p>74 ルイ15世没 (仏)</p> <p>74 ルイ16世即位 (仏)</p> <p>74 ゲーテ『若きウェルテルの悩み』</p> <p>75 アメリカ独立戦争</p> <p>76 アメリカ独立宣言</p> <p>76 スミス『国富論』</p>
1780	<p>80 ベルリンのホフラット・ハウアー、クレッシェンドピアノを製作 (独)</p> <p>80 ミュンヘンのマーリン、1段鍵盤でチェンバロとピアノの音が出せる 楽器を製作 (独)</p> <p>80 ブロードウッド、スクエアピアノを改良 (英) 後のグランドピアノ完成へ </p>		

<p>80 シュタイン、モーツァルトのピアノを調律? ピッチA=422Hz (独)</p> <p>80 ヨン・シュミット、立型ピアノを製作</p> <p>81 シードマイヤー、ピアノ製作開始 (独)</p> <p>82 フロッドウッド、グランドピアノを製作 (英)</p> <p>82 シュレーター没</p> <p>83 フロッドウッド、ペダル (強弱) とグランドピアノの特許取得 (英)</p> <p>83 シュタイン、シフティングペダルを製作 (独)</p> <p>85 フリードリッヒ・カルクブレナー生まれる (独 仏)</p> <p>86 シュタイン、現存のピアノを製作 (5オクターブ) (独)</p> <p>86 ジョン・ゲーズ ホッパーの特許取得</p> <p>87 タスカン、ベルリン高等音楽院に現存するピアノを製作 (仏)</p> <p>87 ドイツの物理学者クラドニ、振動板の図を公表 (独)</p> <p>87 ウォルトン、移動式ソフトペダルの特許取得</p> <p>88 チャールズ・クラグット、1オクターブに39音のマイクロトーンが出るエンハーモニックピアノの特許取得</p> <p>88 カミュ・ブレイエル生まれる (仏)</p> <p>89 サウスウェル、ダブリンでピアノ製作 (アイルランド)</p> <p>89 シュタイン、ニーペダルをフットペダルに変更 (独)</p>	<p>81 モーツァルトとクレメンティ、ウィーンのヨーゼフ2世の前で競演 (ウィーナアクションとイングリッシュアクションの弾きくらべ)</p> <p>82 フィールド生まれる (ダブリン)</p> <p>84 モーツァルト、ワルター製作のピアノを購入</p>  <p>84 クレメンティとクラマーが最初の2台のためのピアノ演奏会を開く</p> <p>86 モーツァルト&lt; フィガロの結婚式 &gt;</p> <p>86 ウェーバー生まれる (独)</p>  <p>87 モーツァルト&lt; ドン・ジョバンニ &gt;</p> <p>87 ベートーベン、ウィーン旅行中にモーツァルトに会う</p>	<p>81 カント 『純粋理性批判』</p> <p>83 パリ条約 (英 米)</p> <p>87 アメリカ憲法制定</p> <p>89 フランス革命、人権宣言</p> <p>89 ワシントン初代大統領就任 (米)</p>
<p>1790</p> <p>90 タスカン、現存のピアノを製作 (5オクターブ) (仏)</p> <p>90 フロッドウッド、初めての5オクターブ半のピアノを製作 (英)</p> <p>90 シュミット、ピアノ製作開始 (独)</p> <p>92 シュタイン没</p> <p>92 エラール、ペダルハーブを完成</p> <p>93 シュタインの娘、ナネットがJ・A シュトライヒャーと結婚</p> <p>ウィーンに移住し、ピアノ製作を開始。弟も共同。</p> <p>93 ウィルヘルム・コンスタンチン・シファー、オクターブカブラーの最初のピアノを製作</p> <p>このペダルのペナントは、1930年エマニュエル・ムーアとペヒシュタインのピアノ工場に与えられている</p> <p>94 フロッドウッド、6オクターブのピアノを製作 (英)</p> <p>94 ウィリアム・サウスウェル、スクエアピアノの音域拡大の特許取得</p> <p>94 ナネット・ウント・アンドレアス商会創業 (奥)</p> <p>後のシュトライヒャー商会</p> <p>94 エリアス・シュレンガルク、卵形のピアノを製作</p> <p>94 イバツハ、ピアノ製作を開始</p> <p>95 ウィーンのカール・レーリック、小型のポータブルピアノを製作 (奥)</p> <p>95 リット・ミューラー、ピアノ製作を開始 (独)</p> <p>95 ロバート・スタート、ピアノ製作を開始 (英)</p> <p>95 シュマール、タンジェントアクションを製作 (独)</p> <p>95 エラール、イギリス式アクションを採用した最初のGPを製作</p> <p>6オクターブ (仏)</p> <p>96 ケニッケ、ハイソノ使用のピアノを製作 (5オクターブ2度)</p> <p>96 イグナツ・ペーゼンドルファー 生まれる (奥)</p>  <p>97 ハインリッヒ・シュタインベーク生まれる (独)</p> <p>97 ローゼン・グラント、ピアノ製作開始</p> <p>97 モーズリー、金属製送り台付き旋盤を発明</p> <p>98 ウィーンで最初のシラピアノが作られる</p> <p>99 ジョージ・スミス、メタルブレース(フレーム)の特許取得</p>	<p>91 モーツァルト没</p> <p>91 ツェルニー生まれる (独)</p>  <p>92 ベートーベン、ピアニストとしてウィーンでデビュー</p> <p>94 ドゥジェク、フロッドウッド製6オクターブピアノでデビュー</p> <p>94 モンテス生まれる (チェコ 独)</p> <p>95 パリ音楽院設立</p> <p>97 シューベルト生まれる (奥)</p> <p>99 ベートーベン &lt; 悲愴ソナタ &gt;</p> <p>99 ドゥジェク 『ピアノフォルテとハーブスコードの演奏技術教授法』</p>	<p>90 メートル法制定</p> <p>90 ゲーテ 『ファウスト』</p> <p>90 フィラデルフィアに首府 (米)</p> <p>92 フランス共和制公布</p> <p>93 恐怖政治、ルイ16世とマリー・アントワネット処刑 (仏)</p> <p>93 第2次ポーランド分割</p> <p>94 ロベスピエール失脚</p> <p>94 フリシヤフ占領 (露)</p> <p>95 第3次ポーランド分割</p> <p>96 フランス・イスパニア同盟</p>